

06. 見やすい標識と交通安全意識の向上

<見やすい標識>

道路上の標識の明確化、自転車専用の標識

五角形 + ベンガラ色 (京都市自転車走行環境

ガイドラインによる色)

<交通安全意識の向上>

ポスター・パンフレットの作成

学校などの公共施設、免許センター、警察署での配布

公共交通機関へのラッピング

取り締まりの強化

07. 経済効果と環境への配慮

<産業連関表による経済効果>

仮定：製造業 3.75 億円、建設業 1 億円の最終需要が発生

[第一次波及効果]

生産誘発額：約 1.6 億円 (逆行列係数×対角自給行列×最終需要ベクトル)

[第二次波及効果]

※初めに第二次波及効果の最終需要ベクトルを求める

⇒第一次波及効果による誘発雇用者所得額：産業毎の生産誘発額×雇用者所得係数より約 0.5 億円

⇒誘発雇用者所得額が実際に消費に回る額 (最終需要ベクトル)：約 0.29 億円 (雇用者所得額×消費転換係数より)

⇒生産誘発額：約 0.2 億円 (逆行列係数×対角自給行列×最終需要ベクトル)

◎波及効果の結果：生産誘発額 1.8 億円

<環境への配慮>

・約 465 万人が観光でレンタカーを使用 (2016)

⇒ワシントン+ミネアポリスで行われた社会実験結果のように、42%の人が自動車利用を減少させると約 195 万人分の自動車利用の減少

・ガソリンのCO₂排出量：約 1.65kg (／1人1日)

⇒195万人×1.65kg=年間 321 万 kg CO₂削減

・排出量取引：(CO₂ 1kgにつき約 840 円)

⇒321 万 kg×840 円÷27 億円の経済効果

08. 実施へのロードマップ

	2017			2018											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
自転車のための街並みの改善と自転車専用マップの作成	限定地区における実地調査・改善ポイントの整理														
	専用マップの作成														
				京都市関係部局への提案											
	調査範囲の拡大・予算化・実施計画														
安全で利便性の高いシェアサイクルの提供とサイクルステーションの設置	自転車への安全装備の実装														
	サイクルステーションのデザイン														
				京都市関係部局への提案											
	調査範囲の拡大・予算化・実施計画														
交通安全意識向上運動と自転車専用標識	自転車標識やポスターをデザイン														
				自転車専用標識の設置											
	自転車専用標識の設置														
	標識やポスター以外の自転車安全向上運動														

09. 今後の進展とまとめ

- ・京都市を安全で「やさしい」まちに！
- ・徹底した実地調査とサンプル作り
- ・行政との2回のバトンタッチで実現へ
- ・そして、日本全国への広がり

《京都市から》

学生さんならではの行動力と発想で、独自に素晴らしいアイデアをまとめていただきました！私たち行政も、現時点での考え方や取組、計画などとの兼ね合いを図りながら、熱意あるアイデアをどう活かしていけるかを、これから共に議論していければと思います。

チーム BICYCLE CITY KYOTO !

石井 亮/岡本 菜那/川崎 駿/塚本 美月/前田 光毅/山田 海斗 (龍谷大学 経済学部 西本ゼミナール 2,3年生)

2017 CHALLENGE OPEN GOVERNANCE MAR 4, TOKYO